

会員のページ

2000年は熱測定学会の情報発信元年？

ソニー学園湘北短期大学 小棹理子

学会のwebページが学術情報センターのWWWサーバー「学情サーバー」に移転した(1999年11月10日)。URLはhttp://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jscta/index_j.htmlである。ご存知の方も多いと思うが、学会のwebページは1997年6月12日に都立大学サーバー上(<http://www.indchem.metro-u.ac.jp>)に開設されたが、学情サーバーに移すための準備期間中(1999年2月～9月)は暫定的に湘北短期大学サーバー上で管理されていた。新年度より、まさしく「Home」に落ち着いたことになる。今後は定期的にアップデートされ、「熱測定」誌編集委員会との連携により、本格的なコンテンツの充実が図られることになる。

サイトの移転に伴い、幹事会の下部組織としてWG¹⁾が置かれた。学術情報センターのWWW資源の提供を受けることになるため、遵守事項を盛り込んだ運用内規、²⁾WWW用HTMLドキュメント作成ガイドライン³⁾が制定された。学会、会員に資する内容であれば、学会webページを利用(リンクも含む)して容易に情報発信ができることになる。会員相互の情報交換に大いに活用されるものと思われる。

これまでも学会ホームページは、例えば、熱測定討

論会の際に、実行委員会により準備されたwebページへのリンクという形で少なからず利用されてきた。また、「熱測定」のイエローページに掲載が間に合わない講演会や会告を告知するために用いられたこともある。会員へのアンケートの回答にも、講習会等の案内をインターネット経由で行って欲しい、との声が増加している。

とくにwebページの威力を実感したのは、CATS-99(1999年6月1日～3日、つくばにて開催された「第2回国際ならびに第4回日中合同熱測定シンポジウム」)に際してのことである。CATS-99のページの実体は東京工業大学サーバー上にあったが、ここから情報を得て、海外からcircularの送付要請や、参加申し込みがあった。日本熱測定学会がThe Japan Society of Calorimetry and Thermal Analysisであることを実感した。

さて、「言葉」に関して「熱測定」の会員のページに小澤丈夫氏、川路均氏から相次いで意見が寄せられている。上述のように、学会webページは「熱測定」編集委員会と密接な関係が持たれることになる。全世界に向け「熱測定」、ひいては日本熱測定学会や熱測定討論会をPRするには、英語と日本語、どちらのほうが効率が良いかは、私にとって自明だと思われる。

1) メンバーは http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jscta/HPWG_ML.html を参照のこと

2) <http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jscta/HPRule.html> にて閲覧可能

3) <http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jscta/HPGL.html> にて閲覧可能